

1998 第15回 しながわ

平和のための戦争展

見つめよう歴史の真実を — 繰り返すまい戦争への道

8月6日(木)～8月9日(日)まで

於：品川区中小企業センター

展示内容

学童疎開と対馬丸

戦争の末期、空襲をさけて都会の子どもたちは地方に疎開しました。

沖縄から九州へ向かう学童疎開船「対馬丸」は米軍潜水艦の魚雷を受けて沈没しました。空襲をさけて安全なところへ避難したはずの子どもたちの大部分が死んだのです。

昨年の12月放置されていた「対馬丸」の捜索が行われ、やっと沈没している場所が確認されました。

「対馬丸」から学童疎開を振り返って考えてください。

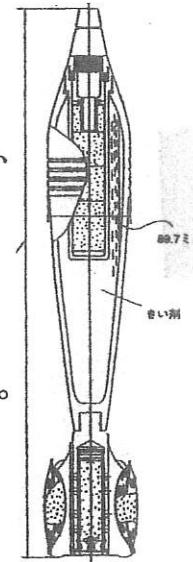


中国で日本軍は毒ガスを使用した！

日中戦争において、日本軍は国際条約に反して毒ガスを使用しました。いつ、どこで、何のために、どのようにして、被害者の証言は？

そして、今なお敗戦後日本軍が遺棄した毒ガスによって被害を受けた人々がいるのです。1995年、日本は「化学兵器禁止条約」を国会で批准しました。戦争の責任とこれからわたしたちの課題は何かを考えてみたいと思います。

分かりやすくするために「毒ガス弾の模型」を作りました。また、「相模海軍工廠で毒ガス製造に関わった人々」の展示もあります。



なぜ教科書に墨を塗ったの？

戦争直後は、今まで使っていた教科書の一部に墨を塗りつぶして使いました。算数や理科の教科書にまで墨が塗られています。

なぜ、そんなことをしなければならなかつたのでしょうか。戦争中の教育を考えます。

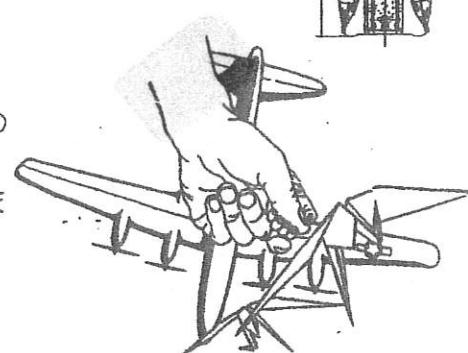


日本列島丸ごと“戦時動員”

日本政府は、四月末、新ガイドラインに基づく一連の法案「周辺事態措置法案」等を国会に提出しました。

アメリカ軍を支援するために、国会の承認もないままに日本を自動的に参戦させようとする危険なものです。

新ガイドラインについて考えてみます。



人間魚雷「回天」

命と引き替えに的確に体当たりする兵器として特攻機が知られていますが、人間魚雷も作られ、実際につかわれました。どんなものだったのでしょうか。模型になるとその、命が紙のように考えられていた戦争というものの恐ろしさが実感されます。

21世紀に核はいらない！

核の20世紀といわれているとき、インド、パキスタンが核実験を実施しました。これからの地球平和のために私たちの手で核のない社会を作りたいと思います。地下核実験の現実を通してみなさんと核廃絶の大切さを考えたいと思います。

手作り大型飛び出す絵本
2階でやります
「みねおくんのなつ」
学童疎開体験者の作品

品川高校生平和ゼミナール

折り鶴で「品川非核平和宣言都市」のマークを作りました

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先 03(5742)7563西條

朗読集団「風」による
「私は従軍慰安婦
だった」

9日(日)2:00から
「風」は八潮地域で結成され
朗読劇を演じるグループ